

法人・学会・民間

研究機関・学会 公益法人など ライフライン ボランティア 企業・関連団体 その他の組織・海外

防災情報新聞 無料版TOP 法人・学会・民間TOP ボランティアTOP

〈AMDA〉ハイチ大地震 医療活動のほか、義肢支援プロジェクトの調整も

ボランティア

〈AMDA〉ハイチ大地震 医療活動のほか、義肢支援プロジェクトの調整も **NEW**

ハイチで地震後の緊急医療支援活動を行っているAMDA(特定非営利活動法人アムダ)は、2月10日にスタッフの一部が帰国し、現地での活動報告記者会見を行った。

報告者のニティアン・ヴィーラバグ調整員(AMDA本部職員)と鈴木梓調整員(AMDA社会開発機構職員)によれば、2月10日現在、ハイチで活動している同スタッフは多国籍医師団の医師12人、看護師6人、調整員4人の計22人。

医師12人の内訳は日本から4人、ネパールから2人、コロンビアから3人、ボリビアから3人となっており、外科の他に麻酔科、整形外科の医師が加わっている。また看護師はカナダから4人、コロンビアから2人が参加した。

現在の活動場所は、ポルトープランスから北西120kmの場所に位置しているハイチ・ゴナイヴの病院と、ドミニカ・サントドミンゴで、医療品や食糧などのロジスティクスの拠点になっているのはサントドミンゴとのこと。

今後は、今回の地震で足の切断手術を余儀なくされた人々に対して義肢支援プロジェクトを行っていく予定で、ドミニカ側国境の町・エリアスピーニャの病院「HOSPITAL ROSA DUARTE」などと調整中。

〈2010.2.16〉



首都近郊では道路が破壊され倒れている風景も。ライフラインの復旧工事は依然として遅れている  
写真は全てAMDA提供



外科的手術の需要が高い。今後は義肢支援プロジェクトを行っていく予定だ



写真は今回派遣されているカナダ人看護師。各国から医師看護師、調整員が派遣され、連携して緊急医療支援を行っている